

『こうま』

おの でら えつこ ぶん
小野寺 悦子／文

たしろ ちさと／絵 福音館書店



こうまが うまれたよ。すぐに たちあがった こう
まは、ひろい そうげんで たんぽぽや ちょうちょと
あそびます。おかあさんの おっぱいを のんで げん
きいっぱいです。ゆっくり ねむって あしたも たの
しいこと たくさん あると いいね。

『はちみついろのうま』

こかせ さく ぶん
小風 さち／作 オリガ・ヤクトーヴィチ／絵

ふくいんかんしよてん
福音館書店



かみの うつくしい むすめは、もりに
すむ おにばばに うまにされて しまい
ました。たすかる てだては ないかと かんがえた
むすめは、かじやの わかものに たすけを もとめま
す。むすめは おにばばから にげて、もとの すがた
に もどることが できるのでしょうか？

『ウマと話すための7つのひみつ』

かわた さん ぶん え かいせいしゃ
河田 棧／文と絵 偕成社

645

ウマはウマどうしだけにつうじる「馬語」
のようなものを話しているそうです。人
とウマは おたがいのことばは わかりま
せん。でも、ごくたまに、ウマの心や体
にしぜんと反応する アンテナをもって
いるこどもも いるようです。さあ、あな
たには馬語が わかるかな？

うまご



『現地取材！世界のくらし4 モンゴル』

げんちしゅざい せかい
関根 淳／文・写真

おさき たかひろ かんしゅう
尾崎 孝宏／監修

302



モンゴルは、国土の大半が草原で、家畜
と共に草原を移動しながら暮らす遊牧民
の人たちがいます。遊牧民たちはヒツジ、ヤギ、牛、
馬、ラクダを五畜とよび、大切にしてきました。ナ
ダムというお祭りでは、子どもたちが騎手となり、
競馬が行われます。



『ペニーさんと動物家族』

マリー・ホール・エッツ／作・絵

まつおか きょうこ やく とくましよてん
松岡 享子／訳 徳間書店

933



ペニーさんは みごとに育った野菜や
花、じまんの動物たちを 農業祭に出品することに
しました。入 賞して賞金をたくさんもらったら、
動物たちみんなで かんらん車にのるのです。動物た
ちは つぎつぎと さわぎを起し農業祭から追い出
されそうになりますが、年老いた馬のリンピーのか
つやくで、すてきなことが起こります。

『十二支のはじまり』

はせ がわ せつこ ぶん やまぐち え いわなみしよてん
長谷川 摂子／文 山口 マオ／絵 岩波書店

みなさんは 十二支を ぜんぶ いえ

ますか？むかし かみさまが だした
おふれによって このじゅんばんが き
まったそうです。ことしは うま年です。うまは ど
うして 七ばんめなのか、ねこは どうして なかまに
はいっていないのか、よんでみてね。



『ガラスのうま』

そや きよし はやし あきこ かいせいしゃ
征矢 清／さく 林 明子／え 偕成社

913

すぐりは まえ足がおれたまま にげだした ガラス
のうまをおって、ガラス山のかあさんの小屋に たど
りつきました。かあさんに おしえられたとおり 水
がめの中をとおって、ガラスのうまを おいかけま
す。きついたら すぐりのからだも はんぶんガラス
になっています。すぐりは ガラスのうまを さがし
だすことが できるのでしょうか？



『エドワードとうま』

アン・ランド／文 オーレ・エクセル／絵

たにかわ しゅんたろう やく いわなみしよてん
谷川 俊太郎／訳 岩波書店



エドワードは マンションの21かいに
すんでいます。ほんとうは うまを かいだ
いけど かえません。あるひ、エドワード
は、ワゴンを ひいて はたらく スミティという うま
と ともだちに なりました。どこへでも スミティと
いっしょに でかけられるように なったのです。

